

Coons 上院議員と Tillis 上院議員、特許法第 101 条関連ラウンドテーブル非公開 会合を開催

2018 年 12 月 27 日

JETRO NY 知的財産部

柳澤、笠原

Law360 は、Chris Coons 上院議員（デラウェア州選出、民主党）および Thom Tillis 上院議員（ノースカロライナ州選出、共和党）が、12 月 12 日に特許法第 101 条関連ラウンドテーブルを非公開で開催したと報じた。

会合には知的財産権者協会（IPO）、New York Intellectual Property Law Association（NYIPLA）、電子フロンティア財団（EFF）、Pharmaceutical Research and Manufacturers of America などの代表者らが出席したとのこと。

会合の内容について IPO の Mark Lauroesch 事務局長は、「これまで一部の議員からは、「特許法第 101 条（特許適格性）の問題については、裁判所で明確にされうるか否かを見守るべきである」、「立法対応は知的財産コミュニティで意見が一致した後に行われるべきである」などという見解が出されていたが、Coons 議員および Tillis 議員は、「特許適格性の判断に関する不確実性の問題は司法府では解消されない」と認識しており、立法対応に着手する心構えを持っているように見えた」と語ったとのこと。また、同事務局長は、会合出席者から特許法第 101 条改正に対して賛否両論が述べられたことに関して、「会合での意見対立は同法改正が容易でないことを明らかにしたが、両議員は対立する意見が完全に一致しそうにないことを受け入れていると思う」と語ったとのこと。

両議員は、関連会合を今後複数回開催して「特許法第 101 条改正案はどのような形をとりうるか」を話し合う予定であるとのこと。

（以上）